

舞鶴医療センター看護部紹介

B-5 病棟 病床数 50 床 主な診療科： 一般外科・消化器内科・耳鼻咽喉科・皮膚科

外科・消化器内科・外傷を中心とした脳神経外科の混合病棟です。外科では、胃・大腸などの消化器癌切除術やヘルニア根治術、痔核などの手術や化学療法を実施しています。脳神経外科では、慢性硬膜下血腫除去手術や外傷後の安静療法を実施しています。消化器内科では、ポリープ切除術を中心に下血・吐血などの内視鏡治療が主に行われています。

安心して手術を受けていただけるように手術前に十分な説明を行い、手術後の患者様には、異変を早期発見できるように取り組んでいます。



また、放射線療法や化学療法を受ける患者様には有害事象の予防や早期発見、耳鼻科では気管切開術を受けられた患者様には文字盤などのコミュニケーションの工夫や精神的フォロー、皮膚科では処置や体位変換の家族指導など、治療や生活への幅広い看護実践が求められています。人工肛門（ストーマ）造設患者様には、皮膚排泄ケア認定看護師と共に退院後の患者様の生活に合わせ、ストーマ管理の指導を行っています。周手術期・回復期、慢性期、終末期と各期を対象としており、60歳以上が全体の7割を占め、機能障害（身体・精神）を持つことが多いため、術後合併症の予防や個別的な看護が必要とされます。

当院は京都府がん診療連携病院としての機能を担っており、がん患者様が全体の4割を占めます。緩和ケアチームや地域連携室と連携を図り、術後の早期離床を含め理学療法に取り組み、チーム医療を推進しています。

